

事業番号	09 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課家畜防疫対策室
				実施期間	S25 ～	E-mail	kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	①労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

1 現状と課題

日本国内において、家畜伝染病である豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの発生が続いている。また、中国や韓国等の近隣国ではアフリカ豚熱が発生しており、国内への侵入リスクが高まっている状況である。このため、感染状況の監視や飼養衛生管理基準の遵守を徹底する等により、疾病の発生予防及びまん延防止を図る必要がある。

2 事業目的

家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・監視伝染病の検査を実施（鳥インフルエンザのモニタリング検査等）
- ・家畜防疫員による飼養衛生管理基準の遵守状況を確認するための農場立入検査

② 家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・防疫演習の実施

③ 豚熱対策の実施

- ・飼養豚等への豚熱ワクチン接種を実施
- ・免疫付与状況等確認検査を実施
- ・野生いのししの豚熱感染確認検査を実施



豚熱ワクチン接種

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	飼養豚等への豚熱ワクチン接種	%	100	100	→	100	→	100	達成	豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、飼養豚等への豚熱感染を予防するため、接種対象を全ての飼養豚等に設定。	
②	防疫演習の実施	回	2	5	↗	18	↗	2	達成	家畜伝染病の発生時に、迅速かつ的確に対応するための指標として設定。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	175,252	△ 9,115	166,137	59,089	146,322	62.8
R3年度	0	194,131	△ 30,468	163,663	54,889	136,081	63.2
R2年度	131,884	278,289	△ 96,128	314,080	86,297	167,940	63.2

事業番号	09 05 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	家畜衛生対策事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課家畜防疫対策室

6 主な取組実績と成果

① 伝染性疾病の発生予防及びまん延防止

- ・鳥インフルエンザのモニタリング検査の対象鶏について検査を実施し、県内への侵入状況を監視した（延べ210戸2,100羽全て陰性）。
- ・家畜防疫員による農場立入検査を674戸で実施し、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認と指導を行い、家畜伝染病の発生予防を図った。



防疫演習



② 家畜伝染病の発生時を想定した危機管理体制の強化

- ・防疫演習を実施し、家畜伝染病の発生時の対応を確認した。

③ 豚熱対策の実施

- ・全ての飼養豚等（延べ117,500頭）へ豚熱ワクチンを接種した。また、ワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査により抗体陽性率80%（前期91.5%、後期85.1%）を確認し、豚熱の発生予防が図られた。
- ・野生いのししの感染確認検査（検査頭数918頭、陽性2頭）を行い、感染状況の監視を強化した。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	飼養豚等への豚熱ワクチン接種	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
計画的な実施により、全ての飼養豚等への豚熱ワクチン接種を達成。							
指標②	防疫演習の実施	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
地域（市町村、JA等）の連携を確認するため地域振興局単位の演習を充実した結果、目標値の2回を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和4年度は県内において特定家畜伝染病の発生確認は無かった。一方で、近隣県での発生が見られることから、引き続き発生予防対策の強化が必要である。
- ・実際の家畜伝染病発生時には、防疫作業員のための県下全域の連携と、現地における防疫作業が行われるため、これを想定した防疫演習が必要である。
- ・豚熱の発生を未然に防ぐため、ワクチン接種を効率的に進めていく必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・農場への飼養衛生管理基準の遵守指導等、引き続き発生予防対策を実施する。
- ・防疫演習では、連絡体制の確認と、現地における実働を想定した演習を行い、県下全域の連携を強化する。
- ・令和5年度から登録飼養衛生管理者（農場従業員等）によるワクチン接種制度を施行する。登録飼養衛生管理者が適切に豚熱ワクチン接種を行い、抗体陽性率80%以上を維持する体制を構築していく。

事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課家畜防疫対策室
-----	-----------------	----	-----	-----	--------------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	家畜保健衛生所運営費	30,140 千円	28,776 千円	28,305 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	家畜保健衛生所の運営	直接	家畜保健衛生所の適正な運営・管理を実施 県内5家保の運営	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	家畜伝染病予防事業	35,505 千円	23,900 千円	23,396 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	家畜伝染病の検査	直接	家畜伝染病の発生及びまん延防止のため、監視伝染病の検査及び農場立入検査を実施 6疾病の監視伝染病の検査及び674戸の農場立入検査を実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	家畜衛生対策事業	24,118 千円	24,897 千円	28,332 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	監視・危機管理体制の強化	直接	特定家畜伝染病の発生を想定した防疫演習を実施 防疫演習を18回実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	B S E 監視検査事業	5,347 千円	5,666 千円	5,157 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	B S E 検査	直接	B S E の清浄性の維持・確認のため、96か月齢以上の死亡牛全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛の B S E 検査を実施 対象牛（100頭）について96%検査を実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
5	豚熱対策事業	72,830 千円	52,842 千円	61,132 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	飼養豚への豚熱対策	直接	県内の全ての飼養豚等へのワクチン接種及びワクチン接種豚の免疫付与状況等確認検査を実施 飼養豚等へのワクチン接種を100%実施、抗体陽性率80%以上を確認	
2	野生いのししへの豚熱対策	直接	野生いのしし感染確認検査による監視強化を実施 年間918頭の野生いのしし検査を実施	